



微笑み

令和3年3月発行

第27号

誓いの言葉

1. わたしたち商工会女性部は、女性の特性をいかし、地域振興発展の良き協力者であるとともに推進者となります。
1. わたしたち商工会女性部は、商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となります。
1. わたしたち商工会女性部は、社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となります。



令和2年12月 感染防止対策を行い実施した交流研修会

力を合わせて歩みましょう

山梨県商工会女性部連合会
会長 平塚 明美



女性部員の皆さまには、日ごろから商工会女性部活動に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、私たちの生活や事業は大きく変化し、大変な思いを抱えながら事業を続けている部員さんも少なくありません。

こうした中、持続化補助金や給付金、家賃支援金、山梨グリーンゾーンに係る補助金など、国や県、市町村などの支援を受けながら、目に見えない魔物との戦いを強いられた一年でした。9月には菅内閣が発足し、早いもので半年が過ぎ、コロナ禍の対策や法の改正、経済の立て直しと、課題は山積していますが、国民に信頼される政府を作ってほしいと願います。

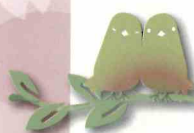
私たちもソーシャルディスタンスを保ちながらの会議、ズームを利用したりリモートによる交流や研修

を行うなど、生活スタイルを変更しながら、出来る事から少しずつ挑戦しています。そして、一日も早く以前の生活に戻れるように、各地域が元気になりますよう、その一役を担う商工会女性部であり続けたいと思います。

皆さまにご協力いただきました100円積立基金からは、7月の大雨に遭われた被災地域の女性部員、女性部の復興・復旧のための支援をさせていただいております。改めて、皆さまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和4年度には関東ブロック商工会女性部交流研修会が山梨県で開催される予定です。益々皆さまのお力添えが必要となりますので、引き続き力を合わせて盛り上げていきたいと思っています。

お身体をお願いいただき、明るい明日に向かって一歩ずつ元気に歩いていきましょう。よろしくお願い申し上げます。



商工会女性部交流研修会に参加して

山梨県商工会女性部連合会

副会長 佐藤 ひで子



主張発表 山梨県代表 遠藤さん

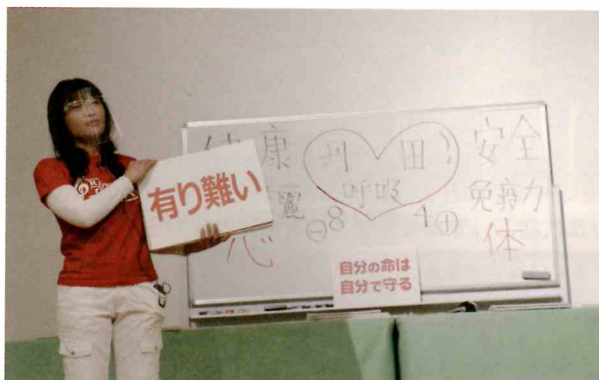
師走に入った12月2日（水）、澄みきった雲ひとつない青空の中、昭和町アピオタワー館にて、参加者64名のもと「令和2年度商工会女性部交流研修会」が開催されました。久しぶりに会う皆様方に『お元気でしたか?』と、マスクの中から精いっぱい目を見開いての挨拶です。

式が始まり、「商工会女性部の歌」から、女の笑顔麗しくと、声高らかに、そして心強く「誓いの言葉」。感動の一瞬でした。開会後は、県連・中村己喜雄会長、県女性連・平塚明美会長より、温かいご挨拶を頂きました。

そして、第一部、長野県で開催される関東ブロック商工会女性部主張発表大会に令和3年度山梨県代表として出場する南部

町商工会女性部・遠藤洋子さん、テーマは「女性部活動と地域振興・まちづくり ～南部町の宝物見つけた！特産品「生姜」復活！～」大きな喜びとなりますよう、ご期待し応援させていただきます。

さて、美味しいコーヒーでブレイクタイム、ほっと一息。続いて、第二部セミナーは、テーマ「かけがえのない大切な命を自分で守る心と体づくり～自身の免疫力をアップして、地域の元気に繋げよう～」講師には、リズムオブラブ 主宰の渡辺光美先生をお招きいたしました。光美先生はやまなし大使を務め、健康安全郷育アドバイザー、防災士、ミットパーカッションプロデューサー等、数々の活動をされています。若く、美しく、可愛いが光美先生の第一印象です。『今日のセミナーはきっと楽しいよ』と参加者全員同じ気持ちで迎えたのではないのでしょうか。



講師 渡辺光美先生



みんなでからだを動かし、リフレッシュ!!

「健康」は、心と身体の免疫力アップ、そして、コロナ禍では血行体温アップ。シニアが抱える3つの不安は①健康、②お金、③孤独ということです。他にも、「ニコニコ長生き！やまなし体操 甲州弁バージョン」「幸せエクササイズ」等の体操を行い、『パ・タ・カ・ラ』と大きな声で身体いっばいに手足を動かしながら、楽しいひとときが流れました。新型コロナウイルス感染症に負けないよう、まずは自分を守ることです。この日の講演は、強く強く心に残りました。そして、ふと目に映った資料の表紙の笑顔、「ここが大切 介護予防」です。夫婦仲良くジョギング、楽しそうな飲食パーティー、汗でダクダクのタオルを手にボランティア活動をしている姿が描かれたものでした。こんな時こそ家族の絆、友、地域の支え合いだと思いました。ご先祖様からの受け継がれた大切な命、母の温もりの中で育てられた命、次の世代にしっかり繋がられるよう、今日、この一日を守って行こうと思います。

今年度の交流研修会は、全員マスク着用で感染予防対策をしっかりとした開催でしたが、参加頂いた女性部員の皆様、また会場スタッフのご協力のもと、無事閉会することができました。いつの日か素敵な笑顔で会える日がきっと来ると信じ、令和3年こそ、平和な一年になりますよう祈りましょう。

—— 光美先生のすばらしいご指導に参加者全員の心がひとつに。

そして大輪の花となって咲いた事と信じます。

ありがとうございました。——

わたしたち商工会女性部は…

市川三郷町 商工会 女性部

私たちにできること

市川三郷町商工会女性部 部長 一ノ瀬 恵子

市川三郷町商工会女性部の活動は、町主催による『ボタンの花祭り』から始まります。しかし、今年度は依然世界中に猛威を振るっているコロナの影響により、すべての活動が制限され計画した事業が実施出来ずにいました。そんな中、商工会にマスク作りの協力依頼があり、女性部員さんに周知したところ、普段はあまり参加できないけどマスク作製ならと、快く協力して頂き760枚ものマスクが出来上がりました。早速、町内の保育園に寄贈したところ園児さん達に大変喜んで頂きました。



マスク寄贈（地元紙掲載）

その後も中々収束しないコロナ禍の中、店舗や事業所前に花の苗を植え、町を元気に、また明るい気持ちで新年を迎えてほしいという願いを込め『花いっぱい運動』事業を実施しました。



花いっぱい運動

例年の女性部活動ができない残念な一年でしたが、部員さんの活発な行動力と団結力を改めて知ることができた充実した一年でもありました。元気で過ごすことも女性部ならではの活動ではないかと思い、これからも女性部員一丸となり頑張っていきます。

上野原市 商工会 女性部

笑顔で活動できるように！

上野原市商工会女性部 部長 佐藤 ひで子

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が全国に発令された4月中旬、今年度の事業計画を策定するため、女性部の運営委員会を開催しました。

これまでは、イベント出店や視察研修・上野原の名産品の「酒饅頭」の手作り体験など、部員の交流と資質向上を目的として数々の活動を行ってきました。

今年度は、今後のインターネットやスマホを活用した活動を視野に「スマホの活用」などをテーマにしたセミナーを開催していきたいと思っていましたが、コロナ禍による活動



2019年視察研修（おもてなし交流事業）

自粛の提案がありました。当市は東京・神奈川との交流が多く、女性部員には高齢の方もいるため、



2019年接客・接遇セミナー

「女性部活動より命を守ろう」との声に抗することはできませんでした。感染防止対策の啓発を行い、「まずは一人ひとり感染予防対策を徹底し、コロナ収束後に、また笑顔で活動しよう！」という、前向きな形での活動自粛となりました。

このような時こそ、今できることを行い、一致団結して乗り越え、来年度こそ、笑顔で女性部活動が実施できるようになることを願っています。

山梨市 商工会 女性部

医療機関等への寄せ植え活動

山梨市商工会女性部 部長 小林 富美子



感謝の心を込めた
花の寄せ植え

できる範囲で」をモットーに活動をしています。

今年度は制限がある中で、私たちにできることは？と考えること5カ月。運営委員会で「毎年している寄せ植えなら外だし密にならないわよね。病院に置かせてもらって花を見ていただくのはどう？」との声。「素敵ね！市役所にも置かせてもらおう！」と賛同の声。女性部ならではのアイデアが光ります。

医療従事者への感謝や手洗いうがいを促すメッセージ、地元のお店で買い物しましょう！等のメッセージプレートを作り、地元のお花屋さんにも協力してもらい、当日は10名の運営委員で寄せ植えと各所への寄贈を行いました。

後日、「病院の雰囲気明るくなった。職員だけでなく、患者さんも癒されている。ありがとうございました。」との嬉しい言葉をいただきました。

コロナ禍で大変な状況の部員もいます。一日も早い収束を願うとともに、今できることを考えながら活動を続けていきます。



参加者でパチリ！

地域貢献と個々にできること

大月市商工会女性部 部長 油井 弥生

大月市商工会女性部の主な事業は「ふるさと産業まつり」「視察研修会」「エコキャップ回収事業」です。ふるさと産業まつりは、大月市商工会とJ Aクレインが主催となり、各産業の物産、サービスの展示販売を通じて、大月市の地元産業の活性化を図る目的で開催しており、例年参加しています。また、先進事例を研修することにより見聞を広げること、コミュニケーションの向上を図ることを目的に視察研修会を行っています。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主な活動が出来ない一年でした。部員同士顔合わせでの活動が出来ない中、唯一行えたのは、エコキャップ回収事業です。誰でも参加できる身近なエコ及び社会貢献活動、実施にあたっての注意事項を再度文書で部員に周知し、部員ひ

とりひとり個々で出来る活動を行いました。巣ごもり期間があったため、ボトルキャップは順調に集まりましたが、やはり顔合わせることが大事なことで改めて感じる一年でした。他愛のない会話も普段当たり前と思っていたのですが、地域のことを知るきっかけになると思いました。これからも部員の意識向上と地域の繋がりを大事にしていきたいと思っています。



2019年産業まつりの様子

コロナ禍での女性部活動

甲斐市商工会女性部 部長 若月 英子

令和2年度は、新型コロナウイルスの流行により、4月の常任委員会、総会から始まり大勢集まる類のものはほとんど実施できない、というかつてない年となりました。16年継続している桑観光事業は中止となり、加工用の桑の実を摘む作業を数日行うだけでした。女性部の活動がこの休止期間によ



スマホ講習会

って止まらぬよう、少しでも皆の集まる機会を作りたいと、例年実施している事業の中で人数制限を設けるなか、花植え作業を2回、携帯アプリLINEによる連絡網の実現を目指し「スマホ講習

会」など講習会を2回開催しました。

また、今年度に参加した新部員の参加もあり、辛抱の時期中でも嬉しい交流もありました。

令和3年度は、個人が元気であること、家庭が元気であること、地域が元気であること、そして商工会女性部が元気であるように、まだまだ続くであろうコロナ禍で、感染予防対策を取りつつ今年度中止となった観光事業や視察研修など、積極的に女性部活動を進めていきたいと思っています。



しめ縄作り講習会

コロナ禍での「みそ作り講習会」

甲州市商工会女性部 部長 平塚 明美

私たち甲州市商工会女性部は、教養講習会の一環として、毎年11月に「みそ作り講習会」を開催しています。この事業は、合併前の勝沼大和商工会が長年行っていた講習会です。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年行っている事業を中止しなくてはならない状況下の中、「みそ作り講習会」の開催について検討しました。協力していただいている麴屋さんの判断で野外作業のため、大丈夫というお墨付きをいただき開催することが出来ました。

みそ作りは前日から部員の自宅駐車場で大豆を煮るところから始まります。部員のご厚意で大変な下準備をご主人と二人で毎年行ってくれています。

秋空の下、薪を燃やし大きな窯でゆっくりと柔らかくなるまで茹でた大豆を細かく挽き、麴と塩を混ぜて樽に詰めます。

涼しく暗い所でじっくりと熟成させると、1年後には味も香りも抜群に美味しいみそが出来上がります。蓋を開けた瞬間、芳醇な香りが広がり「今年も美味しく出来上がったなあ」と嬉しい瞬間です。

世の中が様変わりしてしまいましたが、出来る活動を少しでも開催し部員同士の交流を行っていききたいと思います。



茹でた大豆をざるに移します



大豆・麴・塩を混ぜます



おもてなし勉強会

昨年は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍により、2020東京オリンピック・パラリンピックが令和3年に延期になり、また各イベント等予定していた活動が中止となりました。しかし、私達女性部は、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、おもてなし指さし会話集の練習を、徹底した感染症予防の配慮をした上で、開催しました。そして、その様子は、NHK TVで1都7県に放送され、多くの反響がありました。

また、私達の作成した指さし会話集は、全国各地の商工会女性部等に浸透し、地域ごとに根差した会話集を作成するこ

とで発展しています。

その中のひとつ、人口2万人のうち外国人500名が農林水産業等に従事している北海道紋別市では、指さし会話集を作成しました。私達の会話集がなかったら、紋別のプリーズポイントシートの作成はできなかったという御礼状をいただいています。さらに、その表紙には、私達女性部の特別協賛という文言を入れて下さり、部員一同感激いたしました。

結びに、来年度は新事業に取り組んでいきますが、その活動がスムーズにできることを願っています。そして、来る東京オリンピック・パラリンピックでは、外国の方々を会話集で「おもてなし」をしていきたいと思っています。



紋別市の写真



2019年芝ざくらの草取り

年度が変わる頃から新型コロナウイルスの影響により、外出自粛要請があり、例年行われている「道の駅こすげ周辺の芝ざくらの草取り・水仙の球根植え」の活動は、役員と電話連絡のやりとりの上で中止となりました。「活動したいけれどコロナが怖い」と女性部員皆が口を揃えました。

小菅村は、人口700人程の小さな村で、高齢者の比率が高く、外出する人もめっきり減っています。女性部員の多くは、できるだけ外出を少なくし、外出する際には気をつけ、家と仕事、畑を行き来する生活を送っています。

毎年行われている女性部の視察研修会やトレイルラン大

会への協力（今年度の大会は中止）、忘年会など、全ての行事を見合わせる事となりました。

たまに外で部員に出会うと、「来年は活動できればいいね。」と挨拶を交わします。

今年度は、役員と共にゴールデンウィーク明けから女性部未加入の商工会員の家を訪問することを決めていましたが、実行できずに終わってしまいそうです。

来年度は、状況が良くなり、部員増強に努めていければよいと思います。



トレイルラン2019
女性部特製「けんちん汁」



心をこめて、ピカピカに

年度初来、これまで経験したことのない新型コロナウイルスという疫病が猛威を振るい、未だ収まりを見せることなく私たちの生活に影響を及ぼしています。

不要不急の外出自粛、緊急事態宣言の発出、東京五輪の延期……。日に日に増す感染者数に怯え、私たちは先行きの見えない不安と焦りに包まれました。

それでも、「明るい未来は必ず訪れる」と強い信念を抱き、「今

こそ商工会女性部が一致団結すべき」と仲間とともにこの苦境を乗り越えるため、自らができることを模索しました。

たどり着いた答えは「資質向上」と「地域貢献」。まさに女性部活動の真髄であり原点であることに気づきました。

コロナ禍で進むデジタル化への対応を踏まえ、商工会が提供するオンラインセミナーを積極受講。また、感染が一時落ち着きだした10月には、10年目の節目を迎える国の有形登録文化財「杉浦醫院」の清掃活動を再開し、地域への感謝と久しぶりに顔を合わせる仲間との絆を再認識しました。

まだまだ予断を許さない状況ではありますが、この未曾有の事態を乗り越えるには、「私たち商工会女性部の“笑顔”と“パワー”がカギになる」。そう信じて、私たちはこれからも前を向いて歩み続けます。

丹波山村の特産品で元気になろう

丹波山村商工会女性部 部長 河村 鈴子

丹波山村商工会女性部の今年度の事業活動は、主に「特産品開発事業」に力を入れて行っています。役場からの協力も得られ、今まで女性部が考案した「鹿カレーコロッケ」や舞茸料理のメニューでレシピ集を作成しています。

コロナ禍で会議等が出来ない中、効率よく段取りから試作品作り写真撮影と手際よく事業を進めています。新たな商品のアイデアも沢山ひらめき、中で



女性部考案「鹿カレーコロッケ」



特産品の立派な「まいたけ」

もアユ饅頭が想像以上に美味しく出来たと思います。まだまだ未完成の商品はありますが、今後、時間を掛けて完成させて行きたいと考えています。

このレシピ集を村内に配布し、地域活性化を願い、特産品を使った料理の普及活動も併せて行いたいと思っています。

女性部が中心となり、鹿肉や舞茸等の特産品を食べて「免疫力アップ」「売上アップ」「気持ちもアップ」で丹波山村を盛り上げていきます。



特産品を使った試作品づくり

令和2年度の活動内容

中央市商工会女性部 部長 有田 まゆみ



ハーバリウム

私たち中央市商工会女性部は、少人数ではありますが、とてもまとまりがあり、毎年視察研修会や地域の皆様と一緒に「中央市ふるさとまつり」への出店などの事業を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、部員相互の交流はおろか、それぞれの商売や事業に至っては、厳しい状況となりました。

女性部事業が実施できない中、福利厚生事業の一環として、部員全員にマスクとアルコール消毒液を配布し、新型コロナウイルス感染予防に努めました。

また、例年12月には、教養講習会を実施し、クリスマスリースや正月飾りなどを制作してきました。当初の予定では、十分な感染予防対策を行いながら「ハーバリウム作り」を行う予定でしたが、連日のウイルス感染者数の増加で急遽、材料と作り方のチラシを部員に配布し、自宅でそれぞれが制作をする事となりました。講師の先生のご配慮もあり、素敵なハーバリウム作品ができました。

「WITH コロナ!」これからは、新しい女性部活動の在り方を取り入れて実践していきたいと考えています。

令和2年度をふりかえって

都留市商工会女性部 部長 田中 君江

私たち都留市商工会女性部は、地域に根差した活動を通じ、地域と部員同士がお互いにかかわり、絆を深め合いながら「笑顔」と「思いやり」をモットーに事業に取り組んでいます。主な事業としては「環境美化運動の花植え」「介護施設への慰問」「地域及び部員同士の交流を目的としたグランドゴルフ」「エコキャップ回収事業」などを行っています。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により事業の実施が難しくなりました。コロナ禍の中でも私たちにできることを役員中心となり模索し、マスク着用やアルコール消毒、三密を避けてできる屋外活動の「環境美化運動の

花植え」「グランドゴルフ」を実施しました。また、実際に介護施設へ伺うことは叶いませんが少しでも何か協力したいという思いから女性部員からタオルを集めて「寄付」しました。120本ものタオルを寄付することができ、施設から感謝してもらえたことを嬉しく思います。

今年度は事業ができず残念でしたが、コロナ禍により改めて「当たり前は当たり前ではない」と日々感謝することができました。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、来年度みんながまた笑顔で活動できるよう願っています。



環境美化運動・花植え



屋外活動グランドゴルフ! 気分爽快!!



昭和町商工会

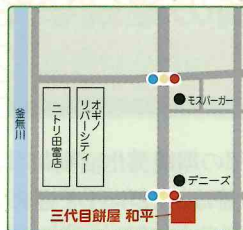
とろける水餅 三代目餅屋 和平

地元山梨の天然水を使用し当社オリジナルの風船パッケージに充填した水餅。爪楊枝でツンと刺すと中から水餅が瞬時に顔をだすのが特長です。

当社のいっぴん「とろける水餅」は、ゼリーでもわらび餅でもない“ぶるるん”食感の新感覚スイーツ。風船パッケージに包まれ、極限にまで透き通った姿は見るものを魅了します。黒蜜ときな粉をかけて召し上がれ。



3ヶ入り900円 賞味期限：7日間



三代目餅屋 和平

住 所：中巨摩郡昭和町河西1053-1
電 話：055-288-9996
FAX：055-288-9987
E-mail：info@mochiya-wahei.co.jp
URL：http://mochiya-wahei.co.jp/
注文方法：直営店舗もしくは電話にて

いっぴん
やまなし

山梨県商工会女性部連合会
セレクション

県内女性部員の事業所には、魅力ある商品・製品・サービス等がたくさんあります。今回は、県内女性部より推薦された4事業所をご紹介します。女性部員事業所の自慢の「いっぴん」をぜひ一度ご賞味、ご利用ください。

(記載してある価格は、令和3年1月末現在の価格(税込)です。)

甲州市商工会

甲州市で創業100年を超える老舗です 広瀬畳店

当店は、国産畳表にこだわり現物の畳表を実際に見て、手に触れて選んでいただいています。



ペットの床や、
玩具による傷もつきにくい。

最近注目の和モダン(縁無し畳)も
人気があります。
カラーバリエーションも豊富。

抗菌効果のある畳表(コロナ対策にも)セキスイの化学表やタイケン和紙表などは、室内でペットを飼っているご家庭や介護などに最適!ジュースをこぼしてもシミになりにくく傷にも強いです。



現在、親子(3代目と4代目)で地域に密着した畳店を心掛けています。

1日1部屋仕上げの(6畳間でも8畳間でも)丁寧な仕事でその日のうちに、納めさせて頂きます。
見積りや家具の移動は、お任せ下さい。

広瀬畳店

甲州市塩山千野475
電話/FAX：0553-33-2870
3代目 広瀬 久
4代目 広瀬 俊輝



身延町商工会

かくし最中・カブト最中・下部の宿・下部小町 ニュー 梅月

創業88年、『武田信玄の隠し湯』で有名な下部温泉の駅前で最中を手作りしております。自家製白あんに干しぶどうが入ったかくし最中はここでしか手に入らない逸品です。ぜひお越しいただきご賞味ください。



かくし最中・カブト最中は、
白あんの中に干しぶどう、
下部の宿は、白あんにブルーベリー、
下部小町は、つぶあんが入っています。

かくし最中 1個100円
8個入り(箱)800円
カブト最中 1個120円
下部の宿 1個100円
下部小町 1個120円
賞味期限：夏季5~7日 冬季7~10日



ニュー 梅月

住 所：南巨摩郡身延町常葉7023
電話/FAX：0556-36-0254
注文方法：電話・FAX・店頭

都留市商工会

地産地消にこだわり旬の食材を取り入れた身体に優しいドレッシング ドレッシング工房 freckle

地産地消にこだわり、旬の食材を取り入れながら身体に優しいドレッシングを作っています。季節ならではの食材を使った旬のドレッシングやソースも販売。店内にはオーガニック食材もたくさん取り揃えています。



540円~730円
賞味期限：製造日から4か月
(※食材によって多少変わります)



ドレッシング工房 freckle

住 所：都留市田原2-14-8
電 話：0554-56-8355
FAX：0554-43-2844
E-mail：freckle2015@outlook.jp
URL：準備中(2021.4月開設予定)
※Instagram、Facebookは開設されています。
注文方法：お電話による注文、店舗及び委託先にて店頭販売



コロナ禍の継続事業の取り組み

道志村商工会女性部 部長 山口 かおる



中学生との交流事業（花植え）

女性部の環境美化活動による花壇の整備は、22年目を迎えました。年2回3000株の苗を植え替えています。5年前から、中学生との交流事業として花植え作業がスタートしました。道志村中学校では、地域の行事や伝統芸能、また地域事業の取り組みなどを学習しており、女性部の環境美化活動を授業の中に取り入れたいと学校から申出がありました。事前説明会を開催し、花植えに対する気持ち、この事業に携わってくれる人達のことを、先生と生徒にお伝えし花植えに臨んでもらいました。

今年度はコロナの影響で授業がかなり遅れてしまっていることから、中学生との共同作業は中止となりました。

地域に根付いた事業でしたので、とても残念でした。今年度は、青年部の力を借りることになり、予定していた日曜日、朝から夕方までの作業となりましたが、青年部のみなさんの協力により花壇整備と花植えを終わらせることができました。

その時通りがかった数名の中学生が「いつもきれいにしてくれてありがとうございます。次回の花植えには必ず参加します」と言ってくれたことは、本当に嬉しかったです。

地域のために何ができるか？から始まった事業がこのように形で根付いてくれたことに自信と誇りをもって今後も継続して行きたいと思います。



花壇の整備

コロナに負けず、がんばってます！

韮崎市商工会女性部 部長 山田 喜代美

韮崎市商工会女性部は街を東西に二分する七里岩に建つ平和観音に見守られながら36名で活動しています。今年度はコロナ禍の為あまり活動はできませんでしたが、その中でも工夫、配慮しながらできることを精一杯してきました。中でもマスク不足の折、市川三郷町商工会の一ノ瀬女性部長さんの手配で品薄だった材料を手に入れ、約350枚の手作りマスクを制作し、地元商店をPRしながら韮崎市へ寄贈いたしました。一枚でも多く制作するためにデザインはシンプルにし、裁断から縫製、袋詰めまでの作業を一週間で終わらせた部員のチームワーク、パワーの凄さを感じるとともにとても有意義な活動ができたと思っています。

また、年末恒例の講習会では、家族の健康とコロナ収束を願い、明るい年になるように思いを馳せ、3種類の蘭の寄せ植えをし、各自の事業所前に飾りました。

今年の抱負としては、若手部員の加入推進活動をもうひと頑張りしたいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。



手作りマスク



花の寄せ植え

普通に・いつも通りに感謝

南部町商工会女性部 部長 遠藤 洋子



生姜ジャムシロップ作業風景

新型コロナウイルスにより「新しい生活スタイルを」と耳慣れない言葉がメディアから流れて、脅威と不安の日々を過ごす年明けの中、「緊急事態宣言」という誰もが体験したことのない生活を余儀なくする事になりました。

先の見えない、長いトンネルに光を求めながら、女性部の活動も一変しました。どこそで「マスクがない」、「ゴム紐がない」、「ガーゼがない」の声が聴かれる中、南部町女性部ではまとまった材料がそろわず、マスク作りが思う様に出来なかったため、各自ができる事をしようと協力を呼びかけました。三密に配慮しながら役員会を3回行いましたが、多くの会議は書面議決で終わりました。部員増強についても個別訪問が出来ず、商工会の通知と一緒にチラシを同封して女性部活動のPRと勧誘を促しました。恒例の「生姜ジャム」と

「生姜シロップ」作りには、細心の注意をはらいながら活動する事が出来ました。三密をさけて加工できる場所として町の調理場を借り、数量を例年の半分に減少して作りました。広々とゆったりした調理場での加工は、お陰様で予定数を無事に仕上げる事が出来ました。販売も町内の商店さんに快く協力していただき、テレビ取材でタレントの「マキタスポーツ」さんが南部町に来た折、「生姜ジャム」をお買い上げいただいたことで、年内中に完売することができました。

現状はLINEや電話でのやりとりで新しい生活様式を守りつつ情報交換をしています。会いたいときに会い、行きたいときに行き、心の底から笑いあえる、女性部の活動が存分に行える日々が、一日も早く戻ることを願っています。



瓶詰め作業

コロナ禍での活動

西桂町商工会女性部 部長 宮下 美保子

令和2年1月、新型コロナウイルス感染症は徐々に日本にも波及し、令和2年3月に予定していた役員視察研修は中止せざるを得なくなりました。

その後、令和2年度の最初の事業である『さくらまつり』の中止が決定され、だんだん身近に影響が出てきました。連日、マスクと消毒薬の不足がテレビで報道される中「何か少しでも社会に貢献できる事はないか」との声から、女性部でマスクの製作に取り組む事にしました。緊急事態宣言が発出される中での作業となり、各々が自宅で縫製し、一人暮らしの高齢者に配布しました。

8月と12月は献血の受付に参加しました。密にならないようにと、気を配りながらの実施となりました。女性部として参加している『三ツ峠の清掃活動』などの中止が相次ぐ

中、人気の『干支作り』については、講師をお願いをして密を避けるため10名ずつ2日間に分けて開催する事ができました。

また、毎年一人暮らしの高齢者に配布している「お正月飾り」については、楽しみに待っていてくださる方がいることから、時間が空いている役員が集まり製作して配布することができました。

「ありがとうございました」との言葉をいただき、コロナ禍ではありましたが、女性部として活動できたことはとても良かったと思います。これからも地域に根付いた女性部活動を行っていきます。



「手作りマスク」と「人気の干支飾り」

できることを楽しく

早川町商工会女性部 部長 望月 千代子



フラワーアレンジメント教室

私達早川町商工会女性部は、年間を通じて楽しく積極的に活動しています。

6月は町内の観光スポットを清掃する地域環境整備事業を実施し地域、観光客に喜ばれています。

11月は、女性部親睦会を開催。今年の反省と来年の活動内容を懇談してこれが部員同士の絆を深める大事な機会になっています。お店の設定も私達の地域、峡南ブロック内で必ず実施しています。思いは、地域のお店を多くの人に知ってもらおうことです。

12月は女性部員に人気のフラワーアレンジメント講習会を開催。

今年度は正月用の寄せ鉢に挑戦し大変好評を得ました。

また、忙しくて参加できない部員さん達も募金や寄付、エコキャップ回収事業等には積極的に協力して下さり本当に感謝しています。

こうした活動が部員達の大切なコミュニケーションの一つとなっており、ここ数年の多数の女性部員増強に繋がっています。

コロナ禍において事業等制限を受けますが、できる活動は小規模ながら行なっています。小さな輪が大きな力となって発展していくことを信じ、女性部活動に取り組んでいきます。

地域環境整備事業
(撮影時以外はマスクを着用しています。)

大変だった一年、明るい未来へ

笛吹市商工会女性部 部長 雨宮 千鶴子



生花教室

笛吹市商工会女性部の主な事業は、「健康教室」「視察研修」「手芸教室」「正月用生花教室」「エコキャップ回収事業」です。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定した事業を実施

することができませんでしたが、このような中でも、良い年を迎えられるようにとお正月用の生花教室を開催しました。今年は顔を合わせる機会がなかったので久しぶりに元気な姿が見られて安心しました。そして、個性あふれるステキな作品ができたので開催して良かったと思いました。

また、部員の皆さんをコロナウイルス感染症から少しでも守れる様に、免疫力が高まる食事、家の中でできる体操等を伝えたいと思い、笛吹市健康づくり課の協力を得て「免疫アップ食事術」、「おうち時間を健康に過ごすために！」の2種類のパンフレットを作成して全部員に配布しました。

これからの女性部の課題は、若い人達に女性部に加入してもらう事だと思います。そのために今後は若い部員達が参加しやすい活動等を役員で考えていきたいと思っています。



作成した「パンフレット」

富士川町商工会女性部のある富士川町は甲府盆地の南端、峡南地区の入口にあります。

部長となり他の女性部長と交流する中で気付いた事がありました。活動に参加するのは一部の限られた方が多いことです。女性部の年間事業の講習会や講演会、視察研修などにどうしたら多くの方に参加してもらえるか、「女性部はこんな事をしている!」「活動に参加したらこんなメリットや楽しみがある!」ということはどう伝えていくかが私達の課題であると感じました。

継続しているエコキャップの回収事業は、女性部員のみならず商工会の会員の方々まで浸透し、商工会を訪れる際に持ってきて下さいます。会館の入口にキャップ回収箱を設置しているため、訪れた方はこの回収箱に「ガラガラ」と音を

たて入れてくれます。今年度の女性部活動は、コロナ禍でなかなか実施することができませんでしたが、エコキャップ回収事業は、110キログラム（キャップ5万5千個）のキャップが集まりました。地道な活動ではありますが「継続は力なり」、環境にやさしい社会貢献の一つです。

富士川町商工会女性部の目指すところは、コロナ禍でも明るく楽しみながら、地域に密着した女性部活動です。



2019 正月飾り講習会



2019 視察研修

令和2年は新型コロナウイルスの感染によりマスクの着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンス、ステイホームと慣れない生活に大変苦しい一年となりました。

今年度は全ての行事が中止または縮小になる中、新型コロナウイルス感染症対策として、地域のために今出来る事はないかと、6月に女性部員に呼びかけ、手作りマスクや消毒液・未使用タオルを集め北杜市へ寄付をしました。市長からは「女性部員さんの心が伝わる、皆さんの心を伝えながら市の障害福祉施設で利用したい」と大変喜ばれました。

11月には大根事業で久しぶりに集まり、肌寒いなか外での作業でしたが、みんなの元気な声と笑顔に会えました。

12月は、毎年恒例のフラワーアレンジメントを行いました。作成中もみんな楽しそうでキラキラした個性的な作品が

出来上がりました。

コロナの早期収束を願いつつ感染予防をしながら、出来ることから始めていきたいと思います。また、コロナが収束した時には、皆さんと協力して様々なことに挑戦していきたいと思います。



個性的に仕上がった
フラワーアレンジメント



大根事業にて
久しぶりの再会



フラワーアレンジメント講習会風景

昨年、いままで経験した事のない激動の一年でありました。コロナ禍で女性部事業もままならない中、12月に毎年好評のフラワーアレンジメント講習会を行いました。午前と午後の2部に分けて密を避け感染対策をとりながらの実施でしたが、クリスマスからお正月まで展示できる素敵なアレンジが完成しました。また、規模を縮小して、花植え作業も実施しました。この状況の中、他に出来る事は何かあるのか役員で模索を行い、全国連のおもてなし交流事業に参加する事を決意し、現在南アルプス市の魅力あ

る施設の体験や、企画を行い、新年度には実施の予定です。

それから思わぬ出来事がありました。先代の部長が東日本大震災の発生時に被災地にお見舞いに行かれた繋がり、宮城県の大賀七ヶ浜商工会女性部より「吊るし飾り」を贈って頂きました。コロナの一日も早い収束を願っての思いが込められた飾りです。返礼として私達も「ヨゲンノトリだるま」を贈らせて頂き、相互の交流をはかりました。今、南アルプス市商工会女性部も更に団結を深め、コロナ禍を乗り越えていきたいと思っています。



多賀城七ヶ浜商工会女性部より
「吊るし飾り」
南アルプス市商工会女性部の
「ヨゲンノトリだるま」

シクラメンで心をひとつに

身延町商工会女性部 部長 鈴木 保子



笑顔でがんばりましょう

観光の町である身延町では、新型コロナウイルスの波紋が大きく広がりました。観光客の減少や各種イベントの中止が相次ぎ、本年は女性部活動も思うように実施できない状況が続きましたが、町全体が賑わいを失う中、このまま元気を失ってはいけなく、女性部として何が出来るのかと話し合った結果、町に彩をとれどし、明るい気持ちと呼び込むため、全部員の店舗にシクラメンの花を配布し、お客様をおもてなしする取り組みを行いました。

この取り組みには、部員同士の心の絆を深める願いも込められています。コロナにより部員が集まることもできないため、こうして同じ花を飾ることで、女性部の一員としての気

持ちを高めるとともに、この花を見て、仲間を思い、お互い励まし合っていく仲間意識を深めていただこうと思っています。コロナ禍により不安が募る毎日ですが、こんな時だからこそ、商工会女性部は地域に明るい気持ちと健やかな元気を呼び込むため、みんなで協力して活動していきたいと思えます。皆さん、身延に来てシクラメンの花が置いてあるお店はきっと女性部のお店です。明るい笑顔で「いらっしゃいませ」と皆様を迎えてくれるはずですよ。ぜひ、お越しください。



心を結ぶシクラメンの花

コロナ禍での女性部活動

河口湖商工会女性部 部長 梶原 みほ子

河口湖商工会女性部は、年間を通して、奉仕活動や研修活動、地域イベント等への参加・出展、視察研修旅行など、様々な活動に取り組んでいます。

しかしながら、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、通常総会は書面議決により開催し、活動についても、三密を避けながら開催した役員会で、部員の安全を考慮し、見送りという判断を下しました。



三密対策をとりながらのピオラ花植え作業

地域のイベントも軒並み中止になり、町全体が静まり返っている中、唯一、沈んだ気持ちや街を明るくしようと、三密対策をとりながら、花の植栽作業を行いました。

富士河口湖町は人気の観光地であり、近年は外国からの観光客も多く、賑わいを見せていました。部員の多くが宿泊業や飲食業を営んでおり、ほとんどの事業所が新型コロナウイルスによる影響を受けています。

Go Toキャンペーンの利用が開始された現在も、新型コロナウイルスの感染と先行きの見えない不安を抱えながら、日々、奮闘しています。

一日も早く新型コロナウイルスが収束し、女性部活動の再開と、街に活気が戻ることを切に願います。



少しでも気持ちが明るくなりますように

令和2年度の表彰

令和2年度全国大会及び商工会法施行60周年記念表彰において受賞されました。

「受賞おめでとうございます。」

《全国大会表彰》

— 全国連会長表彰 —

●優良女性部

都留市商工会女性部
南都留中部商工会女性部
河口湖商工会女性部

●女性部功労者

山梨市商工会女性部 部長 小林 富美子さん
河口湖商工会女性部 部長 梶原 みほ子さん

《商工会法施行60周年記念表彰》

— 関東経済産業局局長表彰 —

●優良女性部

道志村商工会女性部
小菅村商工会女性部

●女性部功労者

甲州市商工会女性部 部長 平塚 明美さん

— 山梨県知事表彰 —

●女性部功労者

甲州市商工会女性部	前部長 小川 勝代さん
市川三郷町商工会女性部	前部長 望月 京子さん
南都留中部商工会女性部	前部長 眞保 昭子さん
富士川町商工会女性部	前部長 大木 花子さん
昭和町商工会女性部	前部長 北爪 房子さん
西桂町商工会女性部	前部長 鶴田 みさ子さん
丹波山村商工会女性部	前部長 守屋 多賀子さん

— 山梨県商工会連合会会長表彰 —

●女性部功労者

大月市商工会女性部	前部長 嶋田 英子さん
南アルプス市商工会女性部	前部長 高石 榮子さん
笛吹市商工会女性部	部長 雨佐 千鶴子さん
上野原市商工会女性部	部長 佐藤 ひで子さん
中央市商工会女性部	部長 有田 まゆみさん
市川三郷町商工会女性部	部長 一ノ瀬 恵子さん
身延町商工会女性部	前部長 佐藤 義恵さん
身延町商工会女性部	部長 鈴木 保子さん
南都留中部商工会女性部	部長 遠藤 洋子さん
富士川町商工会女性部	前部長 井上 廣子さん
昭和町商工会女性部	前部長 島田 ひろみさん
小菅村商工会女性部	部長 古家 芳美さん

商工会女性部 「災害対策100円積立基金」の報告

全国統一「災害対策100円積立基金」事業は、自然災害等により被害に見舞われた商工会女性部に対し県女性連を通じて義援金を送ることにより、全国の女性部員が一丸となって、相互扶助を図ることを目的としています。

○ 取り組み状況

「災害対策100円積立基金」
取り組み基金額
(令和2年度)

全 国	8,650,687 円
山 梨 県	178,900 円

○ 災害対策費の拠出状況

令和2年12月現在、次のとおり支援しました。

令和2年7月の大雨による被害にあった6県女性連計	岐阜県女性連	500,000 円
	島根県女性連	500,000 円
	福岡県女性連	1,000,000 円
	熊本県女性連	1,000,000 円
	大分県女性連	1,000,000 円
	山形県女性連	500,000 円
計	6 県 女 性 連	4,500,000 円

部員増強運動を実施

本年度、コロナ禍の中においても組織強化と帰属意識の高揚を目的に、令和2年9月1日～12月31日までを『県内統一加入促進強化期間』とし、純増1%アップを目標に部員増強運動を実施しました。

コロナ感染拡大防止により女性部事業に苦慮する中ではありましたが、強化促進期間の新規加入者35名となりました。部員増強の取り組みとして、独自のチラシ作成、女性部員同士の繋がりによる声掛け、商工会が一体となり推進を行うなど、新規加入者の増員に繋がりました。

引き続き、地域が一つとなり、女性部活動へご協力をお願いいたします。

なお、強化期間内の成績優秀な女性部とブロックに対して、令和3年度の県女性連の通常総会の席上にて表彰を行う予定です。



商工会女性部 「エコキャップ」回収事業報告

誰でも参加できる身近な「エコ」及び「社会貢献」活動の一環として、継続事業として今年度もペットボトルのキャップ回収事業(「エコキャップ」回収事業)に取り組みました。エコキャップ運動は、4つのいい事につながります。

いいこと 1 **小さなキャップでも集めて分ければ資源**

リサイクルして価値ある材料に!

いいこと 2 **キャップをゴミとして燃やさない**

Co2の削減により地球環境を守ります。

いいこと 3 **世界の子どもたちを病**

ワクチン・医療用品などを送ります。

いいこと 4 **障がい者の仕事の機会を作ります**

キャップ分別・異物除去などを行います。

今年度の取り組みで、ポリオワクチンに換算すると約118人分、はしかに換算すると約20人分、BCGに換算すると約337人分のワクチンの購入費などにすることができ、CO2排出量を削減することができます。ご協力ありがとうございました。

※ワクチンの種類により、何人分のワクチンになるかが変わります。

	令和2年度
エコキャップ数量	1,181kg
エコキャップ個数	587,640 個
ワクチン (ポリオ)	約 118 人分

二〇二〇年はコロナで始まりコロナで終わるという激動の一年となり、このコロナの猛威により私達の生活様式も大きく様変わりしました。「微笑み」の編集も女性部活動が思うように出来ない中での完成となりました。編集にあたりご尽力いただいた皆様に御礼申し上げます。

五年には先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながるというわけています。一つずつコツコツと活動してまいります。

また、コロナが早く収束し、女性部員の皆様の事業が明るい見通しになりますようお願い申し上げます。

女性部広報誌編集委員会
委員長 若月 英子

編集後記

生活に役立つ情報

山梨県商工会女性部連合会
副会長 雨宮千鶴子

お供え餅を切り餅に変身!

お正月にお供えて固くなってしまった「鏡餅」どうしていますか? 砕いてあげ餅にするという方が多いのではないのでしょうか? もう一度つきたての餅にすることで色々な食べ方ができますのでぜひお試しください。

作り方

- ① ボールに水を入れた中に餅を入れて洗い、水を替えながら一週間程置きます。
(もしカビが出たら取り除いてください。)
- ② 深めの皿に入れて蒸し器で蒸します。途中2回ほど餅をつく様にすりこぎ等でたたきます。
- ③ 蒸し器から取り出しもう一度たたいて伸ばし切り餅にします。

★ 切り餅だけでなく丸めてあんころ餅やきな粉餅にしても美味しいです。

委員長 若月 英子 (甲斐市)
副委員長 雨宮 千鶴子 (笛吹市)
委員 小林 富美子 (山梨市)
平塚 明美 (甲州市)
鈴木 保子 (身延町)
遠藤 洋子 (南都町)
中込 真知子 (富士川町)
跡部 恵美 (北杜市)
有田 まゆみ (中央市)
佐藤 ひと子 (上野原市)
山口 かのる (道志村)
山原 みほ子 (河口湖)
古家 芳美 (小菅村)